

# 新潟シティガイド

## 新潟の妖怪伝説を歩く

新潟妖怪研究所 所長



高橋 郁丸さん

十月十九日、新潟シティガイドさんに誘われて、「妖怪伝説を歩く会」に参加しました。

私個人では、伝説を尋ねることはあるのですが、みんな歩いてみるとどうなのでしょう。興味しんしんでした。

「往生院の石亀」、こちらはいろいろな書物で紹介されていますが、やはり実際に目の当たりにすると珍しいですし、不思議な話ではあります。なぜ、住職が石の亀を封じ込めることができず、山忠さんには封じ込められたのか。そもそも、なぜ山忠さんは長岡藩からこのように立派な亀を拝領したのか。何も語らない亀の目が、もの言いたげに見えてきます。

「蒲原浄光寺」さんも、実は逆竹伝説の老家のようですし、「地藏院」さんや「入船地藏尊」さんは、実際お堂の中まで

参拝させていただき、過去の時代にタイムスリップしたような感覚に襲われました。

また、大円寺さんは、このたびは外観のみの見学でしたが、実は建物の中に観海上人様の祭壇があり、復顔したお像が祀られています。さらに、土中入定した石室も拝見させていただきました。この観海上人、真言宗の教えに従って入定したのですが、お墓を暴いてはいけない、という法律ができて掘り出されずにいたものを、昭和時代のテレビ企画で掘り起こされた方です。残念なことに新潟地震で石室が崩れ、湿気によりかなり傷んでいたとのこと。篤い信仰心と人々の幸せを願う思いから即身仏になろうと決意した、高い志を持った方と今、柳都大橋のたもとの寺でお会いできるのです。新潟ならではのありがたい場所です。

新潟湊は江戸時代から繁盛していましたが、多くの文人が往来しました。中でも橘崑崙は「北越奇談」の中で新潟のミステリーを何編か紹介しています。圧巻は新潟湊に姿を現した龍。そして寺町界隈の不思議です。また、大河信濃川を流れてきた神さまも存在します。白山神社の蛇松明神は、五泉市の慈光寺

No. 18号

《編集発行》

新潟シティガイド

《発行人》

八木 洋

- ・聞いたことは忘れる
- ・見たことは思い出す
- ・体験したことは理解する
- ・発見したことは身につく



北越奇談 新潟湊の龍

## 私のお勧めスポット

西海岸公園と西大畑付近



小林 竹志

から追い出された大蛇を祀った社ですし、本町市場の白龍権現の祭神は、長野県千曲川から到達した御祭神です。このような神さまがいらつしやるのも新潟ならではの不思議スポット。気軽に回れますので、ぜひご覧になってください。



どっぺり坂

「海は荒海 向こふは佐渡よ すすめ暗け暗けもう日はくれ」北原白秋が新潟の浜辺を詠んだ砂山です。この詩は昔日の浜辺の風景を思いださせてくれます。林の中を進んで行くと、詩人や文学者の碑や像がたつています。しばらく歩いて行くと「ドン山」といわれ、時計が普及してなかった新潟で大砲で空砲を打ち、正午を知らせていて人々に親しまれていたそうです。「ドン山」を過ぎて二葉中学校の脇を下り西大畑の地獄極楽通りへ出ます。通りの左側に西大畑公園があります。かつて公園内には、火葬場があったといわれておりました。

料亭と旧斎藤家のお座敷が続く白壁通りをすぎ、坂口安吾の生誕地の碑を見学して「ドツペリ」坂に向かいます。旧制新潟高校から古町へ通じる異人池の、五十九段の階段は、いつの頃からか「どっぺり」坂と呼ばれていたそうです。「ドツペリ」とは留年と言う意味だそうです。この坂を頻繁に往来するなと言ふ事です。榎谷小路から

「ドツペリ坂」に向かう道沿いに県事公舎、副知事公舎（レストラン）があります。大正から昭和初期にかけ洋館風の住宅が多く建てられた、この界隈に新潟の人たちは高級住宅地という印象を持っていました。榎谷小路に向かう左側に赤い二つの尖塔を持つ新潟カトリック教会があります、ドイツ製のオルガンやステンドグラスに囲まれた内部はとても美しいものです。この教会を建てる際に掘った井戸から水が湧き出して、「異人池」となったそうです。これからは、どこのコースでも案内出来る様にやる気を大きく持ちがらばろうと思えます

## 蒲原神社



渡辺 裕江

私は沼垂生まれの沼垂育ちです。沼垂町はとても愛着を持っています。特に蒲原祭りです。昭和五十六年迄は蒲原神社が「五社神社」だった事に驚いています。神社の所在地一帯が蒲原と云われていたからだそうなんです。私の周りの人でも「五社神社」を知っている人はいません。蒲原神社なら皆知っています。

蒲原神社と云えば御託宣・祭り・新潟県三大高町の一つで、1kmに渡り四百店余りの露天、そして何と云っても「笹団子・ちまき」です。



蒲原神社

祭りになると何処の家でも作りをしましたので笹の葉の匂いが漂っていました。祭り見物は遠方から栗の木川を船で来て寝泊まりし、笹団子・ちまきを食べながら祭り見物を楽しんだそうです。

時節柄、笹が防腐剤の役目をし、日持ちしたからだそうです。今、笹団子・ちまきを手作りする家はあるのかな？

私自身作らないし子供の頃は一日に何回も祭り見物に行き母の作った笹団子・ちまきを食べても美味しかった。

今になれば懐かしい母の味と匂いです。

御託宣によってその年の作物の植え付け迄も左右したとの歴史を感じます。

ガイド 日誌



二瓶 芳枝

九月二十七日木曜日の午後、白山公園・白山神社・上古町に

女性二人をご案内しました。お天気が心配だったので集合場所を県政記念館にしました。雨が降った場合は館内の展示物を見ながら白山や新潟の歴史について説明し、公園・神社内ではあまり時間をかけないで上古町アーケードに行き、なるべく雨に当たらないような経路を考えました。幸いにその心配がない位の秋晴れになりました。



県政記念館と空中庭園

参加女性は二十代と連絡を受けていましてお出でになったのは六十代の方でした。一人は米沢市の上杉神社のそばに住まいで、上杉神社でボランティアアガイドをされているということでした。県政記念館で副館長のY氏と会った時に、上杉神社でY氏ご夫婦のガイドをしたことがある、と言って偶然再会できたことを大変驚き喜んでいました。もう一人は二年前に米沢市から新潟市に転勤して来られた方で、出身は私と同じ埼玉県

とのこと。私も上杉神社を訪れたことがあり、お互い自己紹介をご挨拶代わりにスタートしました。公園・神社での説明には大変熱心に耳を傾けて下さり、明暦の町建や新潟湊の繁栄の話、信濃川の変化には特に関心を寄せて下さいました。神社のパワースポットにも大感激されていました！



上古町のcafé店

ちなみに以前ご案内した女性のご希望は、燕三条の爪切りを買いたい、ノール賞晩餐会のカテトリーが見たい、月岡温泉の入浴剤を買いたい、どこで買えますか？でした。

米沢のお二人からその後、ご丁寧なお手紙と写真を頂きまして。大変喜んで頂いたことに感謝すると共に達成感がありました。今度は私が上杉神社に行つてガイドをお願いしようかと考えています。

立ち寄り

新潟市陸上競技場



斉川 健一

ヘルシンキオリンピックで、日本の三段跳の四連覇を阻んだブラジルのアデマールFダシルバ、短距離で「ジャマイカの旋風」とあだ名されたマッキンレ、そして「人間機関車」と言われ、長距離三種目を制覇したエミールザトベック、その彼と死闘をくりひろげた西ドイツのシャーデ。これ等アスリートが、今、眼の前、白山競技場にいる。夢の様な話が、昭和二十七年、極東の敗戦国日本、そして新潟にいる事自体エキサイティングな話です。



新潟市陸上競技場

後年、上京して、いろんな方の話を聞いてみると、日本陸連の一連の行為には敬服したものです。白山競技場を空中庭園から、ガイドしてみたいと思うの

は私ばかりでしょうか？クラシカルで、落ち着いた風情の寺院、ダイナミックでエレガンスな萬代橋。エピソードとドラマを併せてのガイドを楽しみたいと思っています。

まち歩きコース受賞報告

「千の風・市民の会」から、まち歩きコースの募集がありました。多数の応募の中から、当会からは「千の風大賞」に田村裕子さんが、「千の風ふるさと賞」に山本逸郎さんが受賞されました。お二人の喜びの言葉を紹介します。

「千の風大賞」をいただいて



田村 裕子

平成二十五年七月二十八日の「市報にいがた」に「千の風」になって私の散歩みち、まち歩きコースを募集の記事が載っていました。内容は「千の風」になって「モニメント」をスタート、通過点またはゴールにしたまち歩きコース（最長一時間程度）と、コースへの想いを綴った作文を募集」と言うものでした。

新井満さんが最終審査してくれ、賞も三つあるとの記事でした。私はこれに応募しました。

「千の風ふるさと賞」始末記

散歩だからブラブラ歩いて楽しめたらいいなと考えました。港の景色が大好きなので、ここを歩くことにしました。一時間という時間を考え、モニユメントを出発点にし「みなとびあ」前からウオータシャトルに乗り、左岸から右岸へ渡ります。そして佐渡汽船から右岸を歩き、柳都大橋の階段を上り、橋の上から港をながめることにしました。その後、橋を下り左岸を歩きながら浚渫船の動きや港の様子を楽ししみながら再びモニユメントに戻ります。十一時五十三分の上りウオータシャトルに乗ってこのコースを歩くと、港に動きのある時間帯でした。

「おけさ丸」が入港するのを見られるし、十二時三十五分発の出港も見れます。私は船が旋回する光景がとても好きです。

このコースを考えたのは、実はガイドの研修と、実際のガイド経験に基づいています。信濃川左岸の研修を受けた時に橋の下を見るのも面白いものだと思います。又、朱鷺メッセで泊まった方に下町を案内した時、ウオータシャトルを利用したことがあります。以上のような経験から考えたコースです。

「千の風大賞」をいただき、色々素晴しい体験をさせていただきました。千の風・市民の会」の関係者の方々や研修をして下さったシティガイドの先輩方のおかげと思ひ、とても感謝しています。ありがとうございます。



山本 逸郎

私生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯をつかい……。「あの「男はつらいよ」の「車寅次郎」さんとは違ひ、新潟市東区の生まれでも育ちでもありません。「市報にいがた」の「シティガイド講座」に応募しましたのがスタート。新潟の地理、歴史など全く「ゼロ」の状態でした。終了後、本会の一員となりました。西大畑のリーダー高橋敬文さんとは同期でいろいろ教えていただきました。千の風になって」との出会いと同じグループの稲村孝夫さんが「千の風のモニユメント」設立に向けて尽力され、そのカンパをしたのがはじまりで「碑の序幕式」も参加させてもらいました。以後カラオケ「遊樂会」では「千の風になって」を歌い続けています。「千の風になって」は「千の風になって」と冷やかされても歌う度に「永遠の生命」を感じさせる歌詞です。「スキルアップ研修」「研修旅行」「セミナー」「各地のまち歩き」にも出来るだけ参加して、いたゞく資料から多くの事柄を修得出来ました。

「下町グループ」「白山グループ」の皆さんからのご指導をいただきました。「市報にいがた」に碑を「スタート」「中継点」または「ゴール」とする



新井 満さんと喜びのお2人

「千の風になって」の「私の散歩道」募集の一周年記念行事を見ての応募で、私のコースは三つ重要文化財と「白山公園」から信濃川左岸の「やすらぎ堤」を「みなとびあ」まで歩きます。途中の風景や流作業場の発展、先人の残した偉業、歴史を回想しながら「千の風の碑」でゴールとなります。応募原稿の中から受賞候補作が選ばれ新井満先生の最終審査で私の作品が「千の風ふるさと賞」に選ばれました。皆さんの力を借りての受賞であり、私の「ふるさと公認証書」でもあると思っています。今年度の「イイ思い出」になりました。「猛暑の夏」は「厳寒の冬」になると言います。「カゼ」は「千」どころでなく「萬病の元」とも言います。「カゼ」をひかないように……。広報担当から原稿の依頼があり書きました。新しい年が来ます。新潟を訪れる人に新潟の「よいトコロ」を感じとれるガイドにチャレンジしていきます。

研修を振り返って

越前浜発祥の謎を解く



関 克人

九月二十二日、新潟シティガイド恒例のバスツアー研修が行われました。

目的地は岩室周辺ですが、途中越前浜の「鳥の子神社」に寄りたというのが企画担当の考案でした。

私は、鳥の子神社を見学するのであれば、至近距離にある「西遊寺」にも寄ってみたいらどうかと提案しました。

理由は、この二つをセットで見学すれば越前浜発祥の謎が解けるからです。

結果、「西遊寺」にも寄ることになりましたが、「鳥の子神社」も含めて私が案内するようにと仰せつかりました。

「鳥の子神社」では、織田信長に敗れた越前の戦国大名・朝倉義景の家臣たちが、義景の愛児・愛玉丸を守りながら小舟で逃避行を続け、鶏の鳴き声をたよりに角田浜に上陸したこと。角田山の山中(宮の平)に身を隠し、鶏を祭神として建てた神社が現在の地に移されたことを話しました。

「西遊寺」では、成人した



「鳥の子神社」奉納の鶏

招魂社(後編)



深澤 一彦

愛玉丸が「宮の平」から下り、「永尊」と称して初代住職となったこと。現在の住職も朝倉姓であることを話しました。

私が案内したのは、越前浜のほんの一部で時間も限られていました。

越前浜には朝倉義景の側近であつたとされる金子・小川・斉藤姓の末裔が多く住んでいる御三家通りもあります。

古民家が残る農村風景を楽しみながら、歴史ある村をゆっくりと散策してみたいかがでしょうか。

昭和六十年一月医学部創立七十五周年記念事業として有任記念会館建設に伴い基礎工事の際

に戊辰の役の東軍戦死者の遺骨四六体が発見された。同年七月建物周辺の駐車場工事に先立ち発掘調査を行った結果、再び四六体の遺骨が出土し、合計九十二体となり、いずれもその都度医学部で丁寧に祭祀した上で護国神社の「戊辰の役殉難者墓苑」に埋葬し、新たに慰霊碑を建立した。しかし、常磐ヶ丘と呼ばれたこの招魂社跡地全体の内、有任記念会館の左右両側の敷地にはまだ未発掘部分があり、掘り残しの東軍戦死者の方々が埋葬されている可能性が大であり、新潟大学や新潟市はなぜそのまま放置しておくのだろうか？

合わせて敷地北面「しようこん坂」側の正面の古い階段と右側の石垣の一部及び前面の松の木数本を景観として史跡保存出来ないものなのか願っている一人であります。

なお、昭和二十年の現在地移転時の常盤ヶ丘には戊辰の役の英霊を祭る「招魂社」と警察や消防の殉職者の霊を祭る「太平神社（常盤丘神社）」の二社があったと言われている。消防関係の墓は新潟大神宮へ。警察関係は小新の警察学校の慰霊碑となつていっている。

又、過去において東軍と推定される遺骨の出土について古くは、昭和五年新潟市関屋金鉢山に新潟盲学校の建設の際に遺骨が出土し、招魂社に埋葬したという記録があり、昭和三十二年金鉢山公園造成の際、整地した場所から小さな墓碑や錆付いた刀剣類が出土したのを、当時の村田市長が隣接する智月寺に集

めて無縁塔を建立している。信濃川対岸の寺山や上木戸地区にも戦死した米沢藩士九名前後の墓碑や塚があるとされている。それ以外にも個人的に新潟大学について昭和二十六年旧招魂社跡地に大学本部庁舎を建設した際と昭和三十九年の新潟国体に昭和天皇来学に備え、本部庁舎左側に学長室を増設し、右側屋外に旭町通りより本部玄関に入るスロープを取り付けた際になんらかの出土があったのではないかと疑問に思い、いろいろと調べてみたが、それが分かる資料類は一切無く、当時仕事に関わった人に聞いたところ多少の出土は無かった訳でもないが、大学側で処理したのではないかと、私がお話で具体的な根拠までは至らず終わりました。

以上、私が定年退職後ボランティアガイドになって、いろいろ得た知識の中で現職時代には関心の深かった「招魂社」について思うことをとりとめも無く記してみました。



平成25年(8月~11月) 取材等・活動状況

日付	活動	対応者	対応機関	内容
8月22日	取材	八木洋	新潟大学経済学部 NPO研究室	新潟シティガイドの資料提供及び聞き取り (担当: 澤村明准教授、学生: 横木剛)
8月29日	取材	諸橋紘一	新潟日報	「まちかど歴史探訪・王瀬長者の五輪塔」(9/4掲載)
10月3・9日	取材	福山、若杉、八木	TeNY	「古町まち歩き」新潟一番サンデー(10/13放送)
11月30日	取材	高橋敬文	NST	「料亭の味と芸妓の舞・古町まち歩き」 スーパーニュース(12/2放送)

左表の通り、代表はじめ、会員の皆様が、報道機関等と対応されましたので、報告します。

報道関係等部外対応状況

— 会員紹介 —

写真	氏名	住所	趣味	関心のあること	新潟シティガイドとしての抱負
	横野 雅子	江南区	旅行 演劇鑑賞	江戸時代の歴史	少しづつ色々な智識を吸収し女性ならではの視点でガイドをする事
	高橋 明子	市内	旅行 ウォーキング 仏像鑑賞	新潟の今昔 堀のあった頃の 新潟について	湊町にいがたを新潟市民にもっと知っていただきたい。北陸新幹線後の観光、食文化を探索してみたい。
	勝見 進	東区	スイミング サイクリング ウォーキング	(仮) 牡丹山遺跡 の発見等、新潟の 地下に眠る歴史	有史以前から、「水と土」の恩恵と脅威の中で、先人達が培った痕跡を辿り、新潟の素晴らしさをPRできるガイドを目指し自己研鑽に務めたい。

今年を締め括る第十八号は、新潟妖怪研究所所長、高橋郁丸様にご投稿を頂きました。当会に對するご指導・ご鞭撻に紙面を借りて厚く御礼申し上げます。新潟日報(十二月十二日)に

編集後記

「スマホで妖怪探し」の記事が掲載されましたが、この新しい取り組みは、高橋様の企画と知りました。「まち歩き」と「スマートフォン」とのコラボレーションは、IT時代の新しい「まち歩き」スタイルとしてとても参考になりました。

お蔭様で、今年も関係機関、各種団体様のご協力により、ガイド活動もとても有意義なものとなりました。また、お客様からのアンケート調査結果も、具体的な内容で取りまとめられました。

寄せられたご意見は、私がお客様のご期待にお応えして行く上での貴重な財産となり、今後の活動にも反映されて行くものと考えております。

今年も中学生の「まち歩き」があり、私も担当させて頂きました。生徒さんからの札状の中に、NEXT21で、新潟の電話発祥の碑を見つけたのが、とても興味深かった」とありました。私にとりまして、とても嬉しい便りでした。

● 広報からのお願い ●  
・ 次の投稿者は、あなたです！  
● 協力宜しく お願いします。 ●